

知ってほしい、薬と薬剤師の仕事

第3回…市販薬選びは、薬剤師に必ずご相談を

市販薬を選ぶときは、薬剤師に相談して購入することが大切です。

皆さんは宣伝や知名度、価格、手に取りやすさで薬を選んでいますか。「相談しないで薬を入手したい」「似ている薬だったら安い方がいい」など。しか

し、自己判断で選択した薬が実は症状に適合なかったり、思ってもよらぬ病気が潜んでいる場合があります。

例えば、胃腸薬は商品によって成分と働きが様々です。「胸やけ」を改善する医薬品でもその原因が消化不良なのか、胃

酸が出すぎて胃が荒れているのかで有効成分は変わってきます。粉薬であれば消化剤だと勘違いして、胃粘膜を守る薬や胃酸分泌を抑える薬を間違えて購入する方もいます。場合によっては効かないばかりか、悪化を招くものもあります。

胃腸薬に使用される成分の中には、緑内障や排尿困難の症状を悪化させるものもあります。思いもよらぬところで、飲み合わせの問題や使用できない薬もありますので、薬剤師に必

ず相談してください。40代女性がいつもの頭痛だろうと、鎮痛剤を購入しに薬局

で鎮痛剤を飲み続けていたら、より重大な病気を引き起こしていたかもしれせん。

薬の専門家である薬剤師にきちんと自分の症状を伝えて相談してから薬を購入することが大切です。そして、いつでも気軽に相談できる「かかりつけ薬剤師」を持つことも、ご自身やご家族の健康維持や病気予防のためには大切です。

された際、様子が辛そうで訴えを聞いてみると、市販薬での対応は適切でない可能性があったため、医師への受診を勧めました。その後、2

つほど病院にかかり頸動脈乖離（かいり）が原因だとわかりました。もし薬剤師に相談なく自己判

断で鎮痛剤を飲み続けたら、より重大な病気を引き起こしていたかもしれせん。



断で鎮痛剤を飲み続けていたら、より重大な病気を引き起こしていたかもしれせん。

薬の専門家である薬剤師にきちんと自分の症状を伝えて相談してから薬を購入することが大切です。そして、いつでも気軽に相談できる「かかりつけ薬剤師」を持つことも、ご自身やご家族の健康維持や病気予防のためには大切です。

今年1月からセルフメディケーション税制がスタートしました。市販薬を購入し、一定の条件を満たせば、所得控除を受けられる場合があります。購入時のレシートは捨てずに保管しましょう。

東京都新宿区

四谷3-3-1

（公社）日本薬剤師会

<http://www.nichiya>

ku.or.jp/